

主な質疑応答

■ 質疑応答…主な質問と回答をご紹介します。

○補助 26 号線について

質問	鉄道との交差部はどのようになるのか？
回答	鉄道との交差部は暫定的に平面にて整備します。道路と鉄道との立体化については、今後も引き続き検討を進めていきます。
質問	商店街との交差部はどのようになるのか？
回答	道路の計画線が商店街を横断することから、皆様の意見も丁寧に聞きながら、道路と沿道のまちづくりを一体的に進める検討を行い、事業を開始できるようにしたいと考えております。
質問	事業はどのように進めていくのか？
回答	皆様の意見も丁寧に聞きながら、道路と沿道のまちづくりを一体的に進める検討を行い、平成 26 年度末を目標に事業を開始できるようにしたいと考えております。

○商店街のまちづくりについて

質問	補助 26 号線と商店街が交差するのは、マイナス面も多いのではないかと？
回答	商店街と交差する部分は、まちづくりの最大の課題の一つと考えています。26 号線だけを整備するのではなく、まちづくりも進め、どういう形であれば、にぎわいをなくさないような状況を両立できるかといったことを検討しています。
質問	商店街のにぎわいの創出のイメージとはどのようなものか？
回答	道路の両側の歩道に面して、商業を集積して人を呼び込むようなイメージを検討しています。また、にぎわい集客の拠点の整備も検討しています。

○不燃化特区について

質問	木造住宅を不燃化の建物に建て替えた際の税の優遇措置はいつまで受けられるのか？
回答	建替えた時から 5 年間、税の優遇措置（固定資産税や都市計画税の減免）が受けられます。この制度は平成 32 年度までです。詳細は、今後お知らせします。

○現況測量について

質問	現況測量で作成した図面は公開してもらえるのか？
回答	閲覧できます。東京都再開発事務所にお問合せ下さい。

※他にも多くのご意見を賜りました。今後の大山のまちづくりに役立ててまいります。たくさんのご意見ありがとうございました。